



令和5年度 院内研究発表会を行いました。
コロナ禍で休止していたため、4年ぶりの開催となりました。

医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

基本方針

1.良質な医療提供に関する事項

患者さま本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

2.患者さまに対する職員の対応に関する事項

笑顔をもっととし、常に患者さまの立場に立ち、患者さま中心の精神を持って行動します。

3.患者さまの権利の尊重に関する事項

患者さまの権利章典を制定し、常に患者さまの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた『共同的な営み』として医療を行います。

4.職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。



医師紹介



地域医療人材教育研修
センター長 研修委員長
齊藤 崇

昨年4月に着任しました。県南の旧西仙北町の生まれですが、ずっと秋田市で育ち大学も秋田です。卒業後は横手の平鹿総合病院で研修、その後は大学病院に約20年、その後秋田厚生医療センターにも20年近く勤務しておりました。藤原記念病院には大学病院勤務時、丁度藤原理事長が病院に戻った頃、20年ちょっと前から前任の秋田厚生医療センター勤務中にも7-8年前までは、週1回の出張診療でお手伝いに来ていました。

元々の専門は循環器内科ですが、この20数年、2004年から義務化された医学部卒業後2年間の初期臨床研修での研修医教育や2012年に始まった県の総合診療医育成事業に携わり、秋田厚生医療センターの救急総合診療部で内科系の病気を複数持っているいわゆる「多疾患併存」の患者さんの診療も担当してきた関係で、「総合診療」を理想としたスタイルを目指して勉強を続けています。

また、これも総合診療育成事業との関係ですが、「ウェルネス・カフェ」など様々な一般向けの健康教室や、医療・福祉・介護などの現場での多職種協働事業の企画、運営等も担当してきました。多分そんな関係もあるのでしょうか、今回、病院の研修委員会も担当するよう仰せつかりました。病院の広報誌の発行や院内での様々な研修企画を担当する委員会とのことですが、ここ数年コロナ禍でなかなか活発な活動がままならなかったと聞いています。「コロナ明け」をにらんで再始動ということになりそうですし、秋田県医師会の生涯教育委員会の他、地元の男鹿潟上南秋医師会でも生涯教育委員会、「健康づくり」事業等を担当していますので、病院外でも何かできることがないか考えなくてはと思っていますのでよろしくお願いいたします。



循環器科医長
渡部 久美子 医師

平成30年から内科で勤務しています渡部久美子です。外来・入院診療、心臓超音波検査を担当しています。早いもので当院にきてからもう5年たちました。だんだんと患者さんにも顔を覚えていただき、患者さんの病気だけでなく生活などの背景も見えるようになってきました。このご縁を大事に診療を行ってまいりたいと思います。

私の専門は一般内科と超音波医学(循環器)です。超音波検査との出会いは学生時代の循環器内科での臨床実習でした。心臓が動いている姿が白黒で映し出され、血流がカラーで表現されていて、体の中をのぞけることに驚きました。そしてその後、心臓血管外科の実習で実際に心臓を見たときに頭の中で超音波検査で見た心臓の画像が重なって「超音波検査って面白い!」と感動したのです。それから医師になり、腹部エコーも

やっていた時期もありましたが、結局より興味深く感じた心臓超音波に注力することになりました。リアルタイムで心臓の拍動の様子や弁膜症などが確認でき、様々なパラメーターから心臓の状況を判断して、それを心不全治療などの診療に役立てていくことができるのが心臓超音波検査の魅力です。今は次々と新しい技術が出てきていてなかなかそれらを活用できていませんが、少しずつ習得していきたいと思えます。心雑音があると言われた、血圧が高いと言われた、息切れがする、体がむくむなどございましたら、外来でご相談ください。今後ともよろしくお願いいたします。

秋田県糖尿病療養指導士について

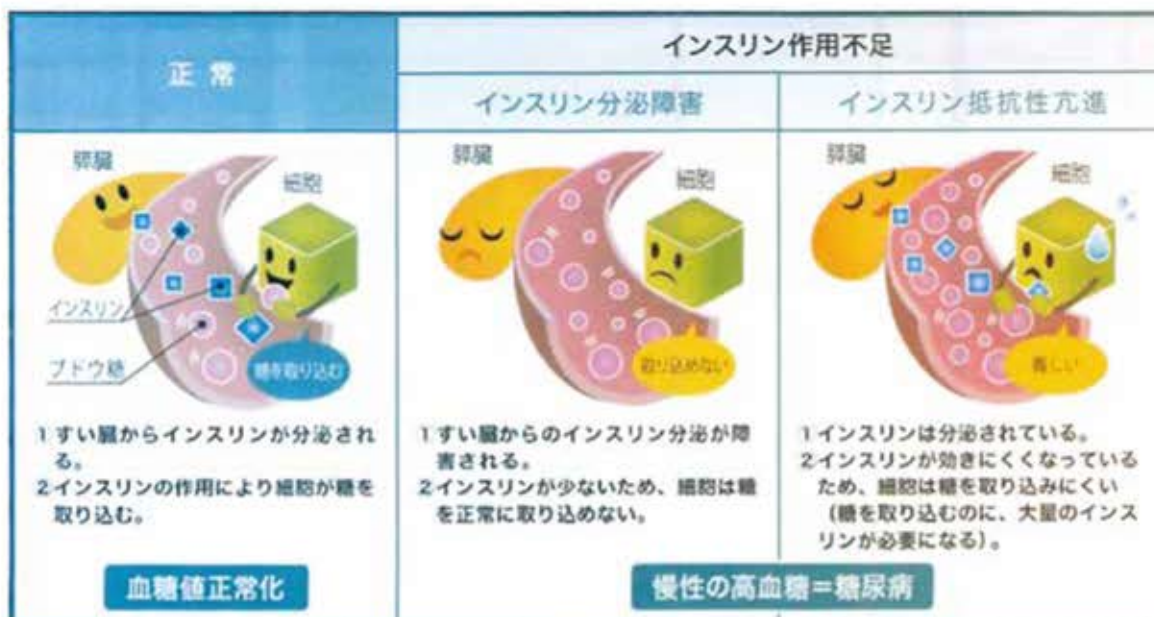


4階病棟 看護師 伊藤奈瑠美・小林さやか

秋田県糖尿病療養指導士は、糖尿病感患者教育の正しい知識及び技術の充実、向上を図り、秋田県の医療に貢献することを目的として作られた認定資格です。患者さんの療養指導に携わるスタッフとして、看護師だけでなく管理栄養士や薬剤師、臨床検査技師、理学療法士が資格を取得できます。医師の治療方針を正しく、適切に伝え、患者さんまたは患者家族が自己管理できるように支援します。そのためには患者さんの生活環境を理解し、個性を活かしながら患者さんが糖尿病と上手に付き合っていけるように自己管理のサポートを行っていきます。

糖尿病とは

インスリンが十分に働かないため、血液中を流れるブドウ糖が増えてしまう病気です。インスリンは膵臓から出るホルモンであり、血糖を一定の範囲におさめる働きを担っています。血糖値が何年間も高いままで放置されると、血管が傷つき、将来的に失明や腎不全、足の切断、心臓病といったより重い病気に繋がります。また、著しく高い血糖はそれだけで昏睡などを起こす可能性があります。



医学情報科学研究所 編、病気が見える vol. 3 糖尿病 - 代謝・内分泌 第4版、メディックメディア、2014、12、より改変

当院には現在私たち2名を含め4名の認定を受けた看護師が在籍しています。糖尿病に対して気になる症状や生活習慣等がございましたら是非ご相談下さい。

事務部長挨拶

地域の皆さまにおかれましては、日頃より当院をご利用いただき誠にありがとうございます。また、近隣の開業医の先生方、病院や施設の方々には、当院の診療にいつも多大なるご支援をいただき、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年4月に事務部長を拝命してから7年が経過しました。この7年間の中頃からは新型コロナウイルスが猛威を振るい、いわゆるコロナ禍という期間が長く続き、我々医療機関も新型コロナという災厄に大きく振り回されました。新型コロナは人の生活様式を一変させ、あらゆる分野や人々に対して、様々な影響を否応なしに与えました。お金や仕事、健康など大切なものを新型コロナに奪われ、今現在においても、その影響を受けている方々は、たくさんいらっしゃるかと思います。

このように、コロナ禍では当然、ネガティブな部分ばかりが目につきます。そこで少し視点を変えて、コロナ禍における別の側面にも目を向けてみます。例えば当院内でクラスターが発生した際に顕在化した、職員間の強い団結力と絆、仲間や家族への思いやりの気持ち、些細な日常に対する感謝、新たな状況（環境）への適応力など、多くの成長と気づき、学びがコロナ禍にはあったのではないかと感じます。コロナ禍により、失われたものは圧倒的に多かったかもしれませんが、このように得られたものも少なからずあったかと思うと、幾分気持ちも救われます。

最後になりますが、当院は地域の病院として、この地域で過不足のない医療サービスを永続的に提供していくことが、結果的に地域の皆様の健康を守る事に繋がるものと考えております。これからも地域の皆様が安心して健康でいられるように、また地域の皆様に信頼され、必要とされる病院であり続けられるよう、努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



受付よりお知らせ



**再来受付機が新しくなりました。
画面が大きく、見やすくなりました。**



**オンライン資格確認導入しています。
お気軽にお声掛けください。**

出戸診療所27年のあゆみ

出戸診療所は平成8年9月13日、当時の天王町北野（現：潟上市天王字北野）に、先々代の敬徳会理事長であった藤原慶之先生が開設されました。出戸浜海水浴場を背にして2 km 東進すると JR 男鹿線出戸浜駅に突き当たります。右折して出戸開拓踏切を渡ると左手にあります。出戸新町に移住者が増加してきた頃で、初代院長は小川英子先生でした。開院してまもなく27年になります。この間、地域住民の方々に様々な形で育てていただきました。医師、看護師、事務も入れ替わりはありましたが、現在は、医師2名（交代制）、看護師3名、事務2名の体制で診療しております。同じ屋根の下に、天王訪問看護ステーションとまごころプランステーションがあり、ともに患者さんや利用者さんが少しでも安心して暮らせる生活のお手伝いをさせていただいております。

私は、平成9年8月から診療に関わって参りました。秋田市から海沿いに車を走らせて通っています。片側一車線の対面通行だった道路は、中央分離帯のある片側二車線の県道56号となり、県立大学ができ、夕日の松原には風力発電の風車が林立し、そして沖では洋上風力発電が始まりました。同じ道を往き来しているうちに時代は大きく変わりました。ただ、嵐の日には白い牙をむき出しに荒れ狂い、晴れた日には沈む太陽を美しく受け止める日本海はそんなことは知らないとそこにあります。行きは男鹿半島を、帰りは鳥海山が見えると心が小さく躍ります。そして自然の前にちっぽけな自分を感じます。

医療の分野では、診断、検査、治療で日々進歩していますが、まだまだ根治できない疾患に苦しんでいる方が大勢いらっしゃいます。私たちの力は微々たるものですが、寄りそう優しさを忘れずに、診療を続けたいと思っております。

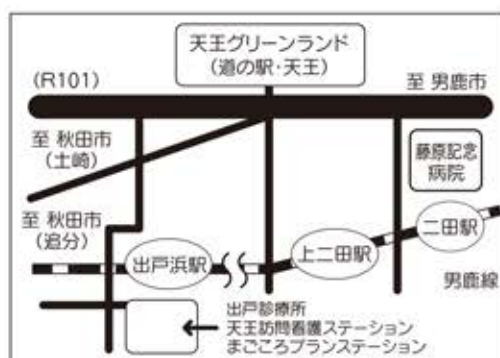
（所長 萱場 恵）



《診療科目》内科・小児科

《担当医》萱場 恵、吉成 ひろ子

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
13:30～17:00	○	○	休診	○	○	休診



* 受付時間は診察終了の15分前まで *

《休診日》日曜、祝日、お盆(8/13～8/15)、年末年始(12/31～1/3)

潟上市天王字北野307-55
TEL 018-878-7710

関連施設のご案内

～社会福祉法人 敬仁会～

敬仁会は、昭和61年5月に法人設立、昭和62年4月に特別養護老人ホーム松恵苑を開設して以降、地域の方々に支えられ37年もの長きにわたり事業を継続してきました。

敬仁会の理念「本法人はすべての利用者の方々それぞれの尊厳・個性を尊重し、充実した生活を送られることを目指す施設運営を理念とする。」を職員全員が理解して、それを具現化していく人材の集まりになることを目指して、微力ながら取り組んで参る所存です。

法人本部：秋田県潟上市天王字鶴沼台43-226(松恵苑内)
TEL:018-878-5533 <http://keijinkai.akita.jp>



敬仁会 常務理事 大坂一郎

地域密着型特別養護老人ホーム 聚恵苑



あなたらしく。

特別養護老人ホーム 松恵苑



老人保健施設 くらかけの里



デイサービスセンター はまなす



老人介護支援センター てんのう



お気軽に
お問い合わせ
ください!



編集後記

今年は熊の目撃や人身被害が多く報告されていますね。市街地でも油断は禁物です。熊は基本的に臆病な性格なので、人の気配を感じると近づいてくることはありませんが、もし熊と遭遇してしまったら…!!静かに後ずさりをして、背中を見せずにその場から立ち去りましょう(背中を向けると追ってきます)。またラジオや鈴などで音を出し、人の存在を知らせることで鉢合わせを防ぐことも大切です。もしもの時の行動を押さえておくと、より安心ですね。

なつめの由来



花自体は小さくてあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壮の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても重宝されております。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に重宝されるような病院を目指しなつめと名付けました。(なつめの花言葉『健康の果実』)



藤原記念病院

〒010-0201 潟上市天王字上江川47

TEL 018-878-3131

FAX 018-878-7234

URL <http://www.fujiwarahsp.or.jp/>